

大学生まちづくりチャレンジ事業

中間報告会(平成30年11月3日)

活動報告会(平成31年2月17日)

<アンケート集計結果>

○対象

大学生まちづくりチャレンジ事業参加大学生

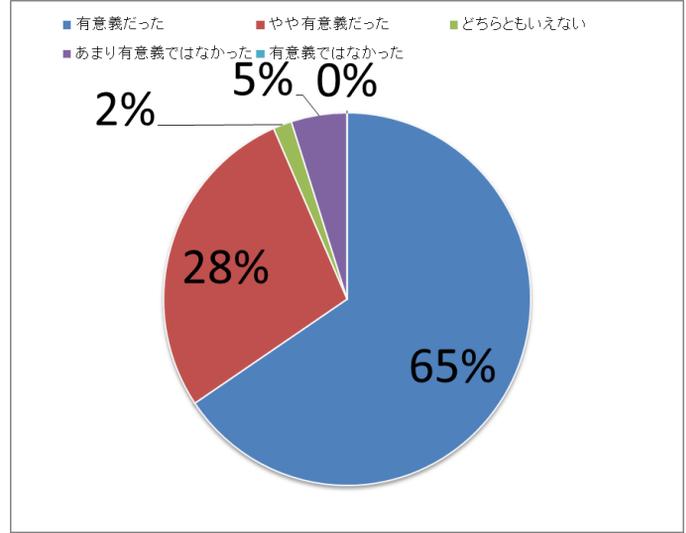
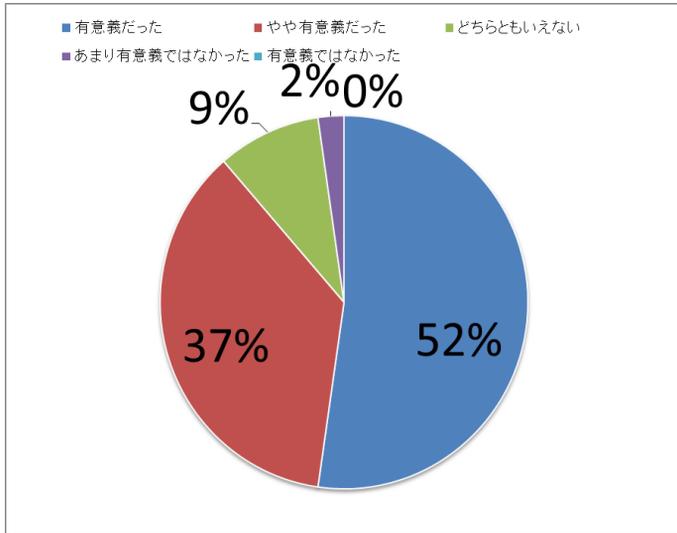
○回収数

中間報告会 : 44人(回収率100%)

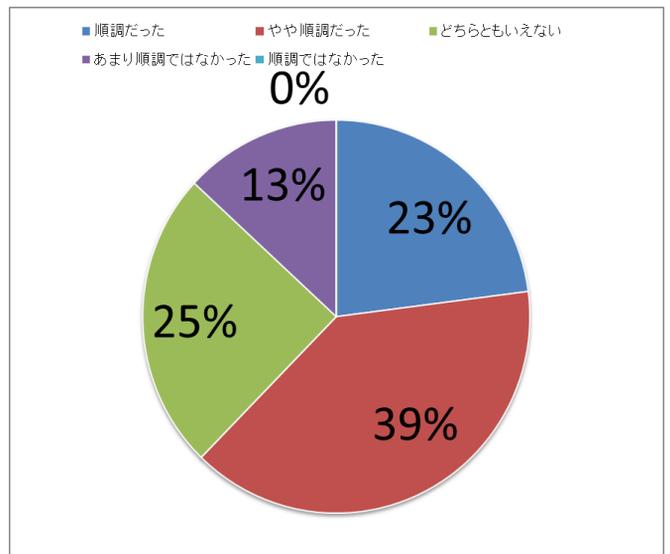
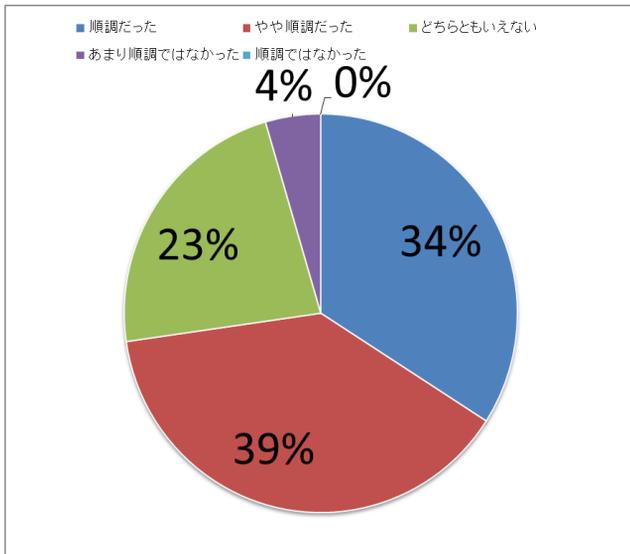
活動報告会 : 61人(回収率75%)



【問1】大学生まちづくりチャレンジ事業に参加した感想は？



【問2】これまでの活動は順調でしたか？



**【問2】これまでの活動は順調ですか？（順調でしたか？）
困ったことがあれば記入してください。（自由記述）**

<中間報告会(11/3)>

- 成果物の作成で思った以上に費用がかかる。
- 他との両立が大変でした。
- 活動人数が減ったこと。
- 順調だが困ったことは、学生同士の連携面。（連絡が市から来ても引き継ぎがない）
- 多少、想定内ではありますが、今年1年で終わらすことを考えてしまうと、やや尻すぼみになりそうです。災害の件もあり、予定通りにはいっていませんが、お金を出して頂いているので頑張ります。
- 先方の日程と学生側の日程がなかなか合わない。
- 取材時のバスの運賃は領収書発行をどうすべきか分からない。
- 多様な専門分野の学生が時間をつくりながら情報共有することが大変だった。
- 計画と企画に少し時間がかかってしまいました。
- 人手がやや足りない。

<活動報告会(2/17)>

- 中心メンバー以外、事務系で動いてくれない。
- 人手が足りないことがあった。
- 一部の人に仕事が偏っていて、大変そうな人とそうでもない人の差があるように感じた。メンバーの中で負担に差があった（比率、仕事分担）
- 準備段階が忙しく大変だった。
- 私自身、色々とチームで動く責任や、人として大切なことを多く学んだ上、たくさんチームに迷惑をかけてしまいました。ですが、最後まで諦めず行えて大変良かったです。
- 3人中2人が就活・卒論で忙しい中でのプロジェクトでコミュニケーションを取りながら進めていくのが大変だったが、すごくやりがいがあって有意義な時間を共有できた。楽しかったです。
- ワークショップの開催にあたり、準備段階で周知の方法に苦労した。
- 調査を行い、注意した場所などのイラストや説明文に時間がかかりました。
- スケジュール管理
- 大学生活と活動との両立が難しく感じた。
- 協力して下さる方々の生活体験を残していく作業なので、プライバシーへの配慮が必要でした。
- 学生だけで行った内容は有意義にできた。担当教員の協力不足や大学側の規制が多く、思うようにできなかった事もあった。
- プレゼンの時間が短すぎると感じた。×5
- 伝えたいことが多いことに対し、時間が限られているので、発表原稿に苦労しました。
- 配付資料の作成や調査において予算的に厳しい部分があった。
- やや活動資金が足りないかなと。

【問3】大学生まちづくりチャレンジ事業に参加して良い点や改善してほしい点を記入してください。(自由記述)

<中間報告会(11/3)>

<良い点>

- ・ 良い点は、学生がのびのびと活動が出来るシステムであることです。
- ・ 広報を発信してくれる点。
- ・ 自分たちがやりたいことを期限内でスピード感・責任をもって行える点。
- ・ 地域の方との関わりを深めれた。(他大学とも)
- ・ 地域を知る、経験やチャレンジ、社会貢献や社会参加参画の向上
- ・ 大学生の活やくが必要とされていると気付けたこと。
- ・ 学生が自分の住む地域に貢献できる。
- ・ まちづくり事業に関していろいろな専門の方から話が聞けた点。
- ・ 予算の心配がない。自分たちの知らないこと、経験したことがないことが体験できる。
- ・ 補助金によって行うことができる幅が広がりました。
- ・ 企業の方や子ども達との関わりを深めることができる。
- ・ この事業を通して、様々な人と関わる事ができる事。
- ・ まちづくりに対するさまざまな視点からのアプローチが知られてよかった。
- ・ 多団体が参加することで、専門分野外の課題点を知ることができる。
- ・ 様々な視点からの意見がきけた。
- ・ いろんな意見を聞くことができた点。発表後に質疑応答がなかったので安心しました。
- ・ 自分たち以外の活動を知り、自分たちの活動にいかせる点。
- ・ 自分の大学内で学習した情報を生かせることができた。他大学との交流が貴重な時間になった。
- ・ 他の事業の話が聞けたこと。
- ・ 他大学の方々との交流があったこと。×4
- ・ 他大学の取り組みを知る良い機会となりました。×3
- ・ 他大学と交流や共有、そして、NPO法人の方々とふれあえること。
- ・ 中間報告会など他のグループが何をしているのかを知る機会がある。
- ・ 他の主体的に活動をしている団体のとりくみや大学生の考え方・姿勢を知れるところ。
- ・ 岡山の魅力を知ることができた。
- ・ 地域に必要なことは何かを攻めて考えることができる点。
- ・ 実際に動くことで、良い経験になっています。
- ・ 各事業が、短期・中長期的に続いていく(べき)もののバランスがいい?
- ・ 活動が活発的。
- ・ 司会進行の人の語りの上手さ。

<改善点>

- ・ もっと集会をふやして、まちづくりチャレンジ自体のコミュニケーションを確立させたい。たくさん交流して刺激したい。
- ・ プレゼン時の器材の充実化。
- ・ 器材の充実化。
- ・ スライドを映す画面を大きく表示してほしい。
- ・ 3分の発表が短く感じた。
- ・ 学生が直接、市側と話すことがなく、大枠を知ったのが最近だったこと。
- ・ 大学生まちづくりチャレンジに参加している学生との交流ができる場(拠点)がほしい。
- ・ 関連するような内容の事業であれば、随時共同でできると面白いかなと思います。
- ・ 他大学の交流の時間が少し短いかもしれない・・・
- ・ 他のチームのプロジェクトにももう少しふみ込んだ話がしてみたかった
- ・ 大学生ならではのアカデミックな事業。
- ・ 開始時間をはやめてほしい。
- ・ お金を30万円にしてほしい点。
- ・ もう少し予算が欲しい。
- ・ 交流会への参加の有無がほしい。

【問3】大学生まちづくりチャレンジ事業に参加して良い点や改善してほしい点を記入してください。(自由記述)

<活動報告会(2/17)>

<良い点>

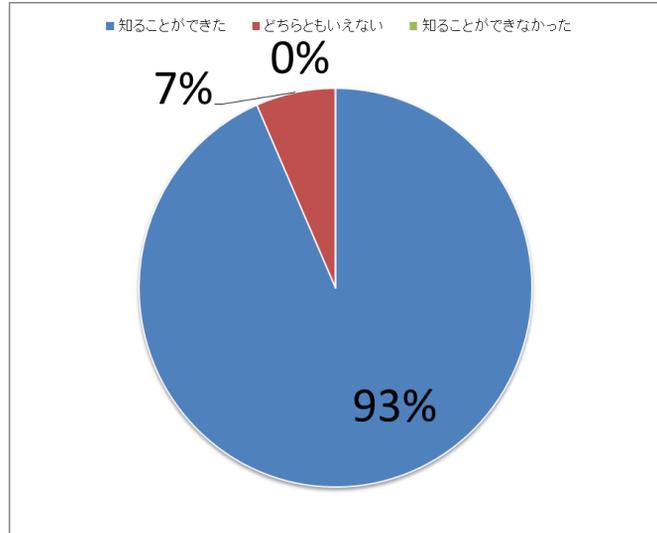
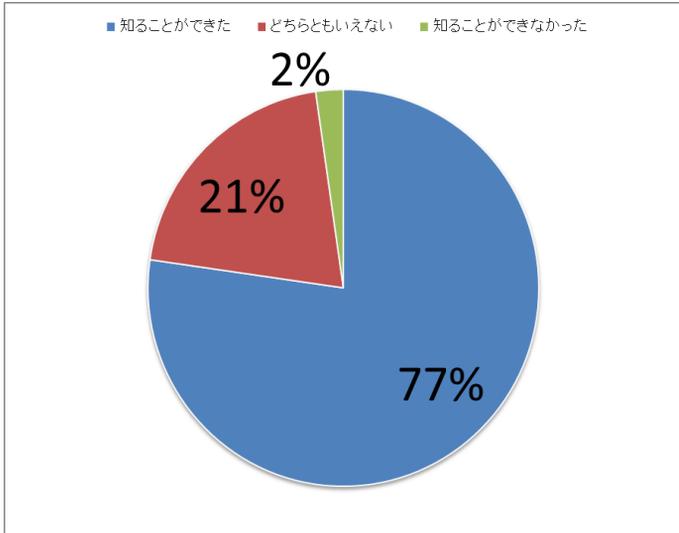
- いろんな分野があり、岡山についてより知ることができた。
- 岡山市、地域のことをよく知れた。
- 学生が関わることができること。
- 他のグループがどうやって自分達の特性・強みを生かして地域のニーズ・課題を解決しようとしているかの方法・工夫を見ることができて、すごくおもしろいと思った。
- 地域の方と密接に関わることができ、地域のことを深く考えられた。
- 予算が多く、活動の幅を広げて活動できました。ありがとうございました。
- 岡山のことをより考えるきっかけになった。地域の人の考えを聞いた。
- 日頃の生活の中で感じていた地域課題に対して、活動することができた。このような機会があることは大変貴重である。
- 同じ事業でこれだけ多様な活動があると、興味が広がる良いきっかけになります！
- 助成がいただける。他大学の活動を知れる。
- フィードバックを得ることで、今後の構想が深まると思った。
- どの大学も素晴らしくて、とても良い刺激になりました。
- 他大学の発表を聞けることは、授業でもいかせるので良い。
- まちづくりについて知ることができた。
- 行ったことないところに行ったり、たくさんの人に関わることができました。
- この事業をしないと達成できなかったことができて良かった。
- 新しいことにチャレンジできた。
- 子どもたちに社会の仕組みについて知ってもらえること。
- 広報の場を提供していただける点。
- 自分では思いつかない新たな発想があり、とても刺激になった。
- 大学生まちづくりチャレンジ事業に入らないとこのようなことはできなかったです！
- 県外出身者だったが、岡山のことが好きになった。
- 様々な意見を交流会の中で得ることができた。

<改善点>

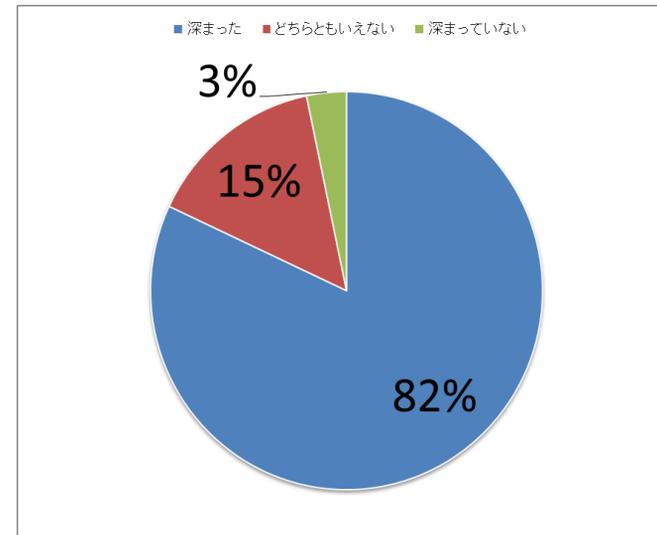
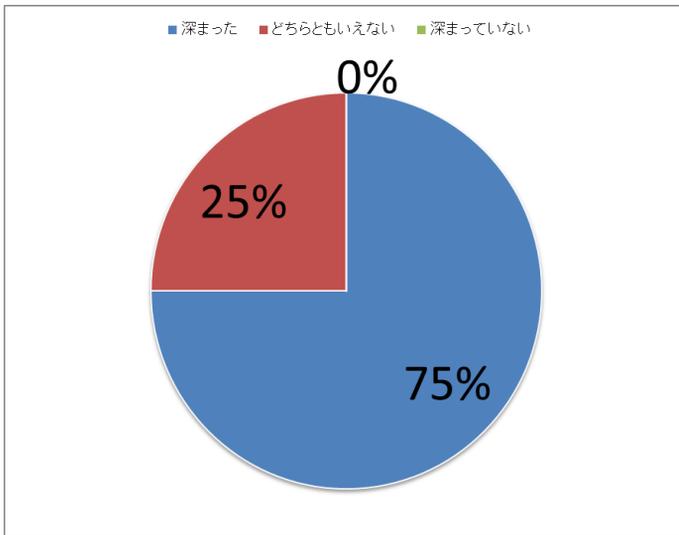
- 他大学の活動がもっと知れるように、SNSを用いた何かがあれば良いと思いました。
- もっと深く交流できる場があるとうれしいです。
- 団体が集合して市民の方に全体的にアピールをできるような機会がほしいです。
- 発表時間をもう少し増やしてほしい。×6
- 中間報告にいない審査員だと伝わらないので、中間報告にいた人で構成した方が良いのでは？評価基準が「ビジネス・経済」に偏っていると感じた。
- アンケート入力の際などにひな型をいただけるとありがたいです。
- 研究室単位ではなく、学生だけでも募集可にしてもらいたい。他の団体と取り組みについてディスカッションできる様にしてほしいです。(交流機会を増やしてもらいたいです。)
- もっと早く事業に取り組めるように早く決めてほしい。
- 予算の増加。
- 交流会でふせんを渡しにいくタイムがごちゃごちゃしていたような気がします。



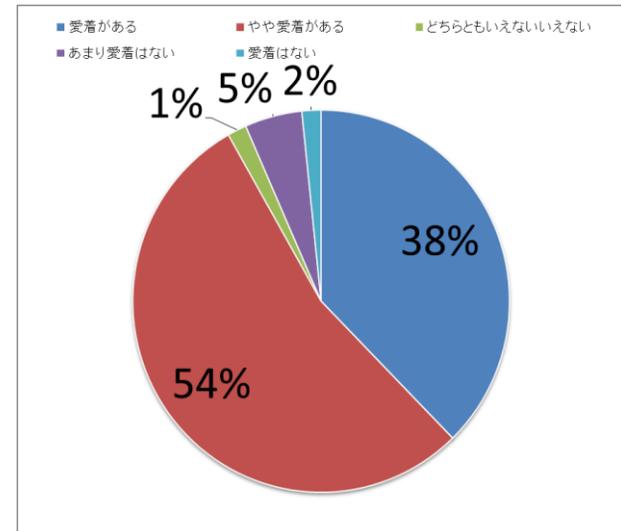
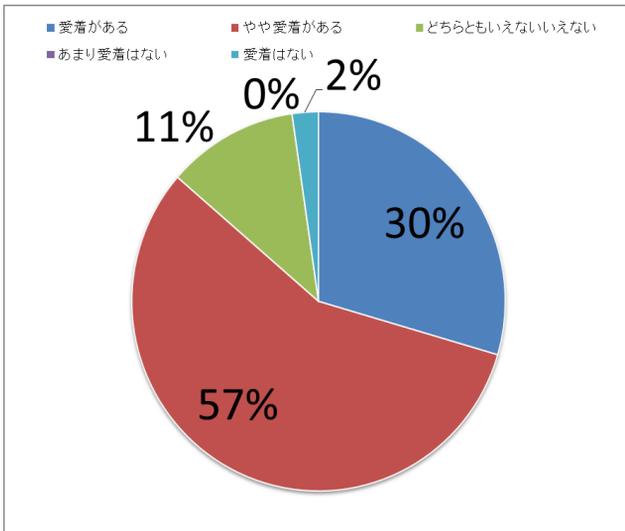
【問4】参加する前と比べて、岡山のまちを知ることができましたか？



【問5】参加する前と比べて、岡山市への愛着は深まりましたか？



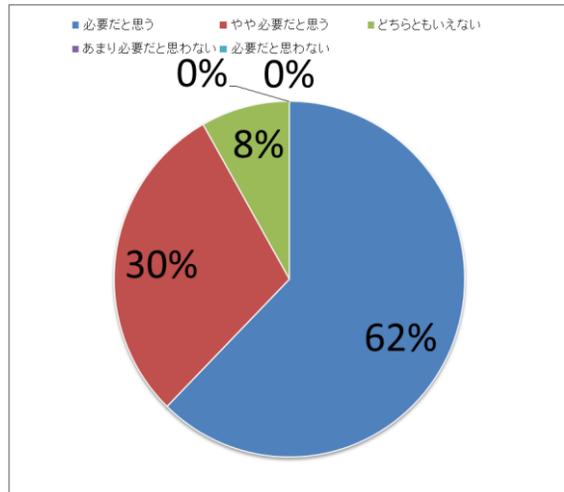
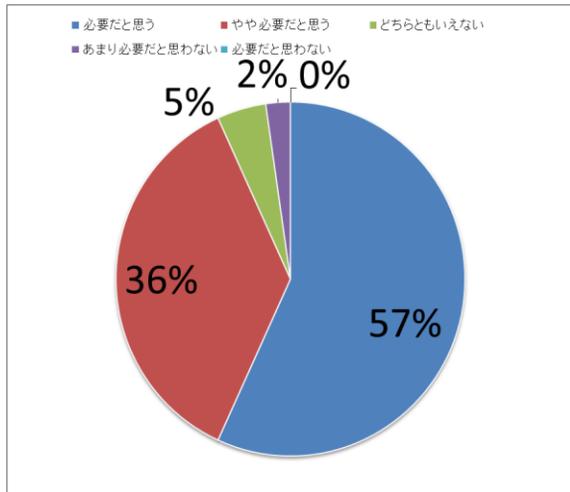
【問6】岡山市に対する現在の愛着度を点数で表すと何点ですか？



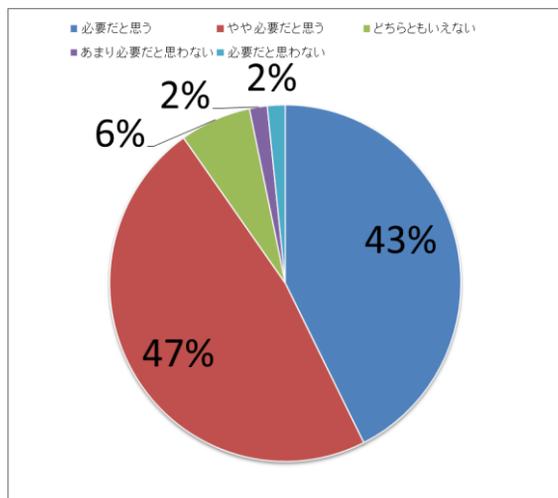
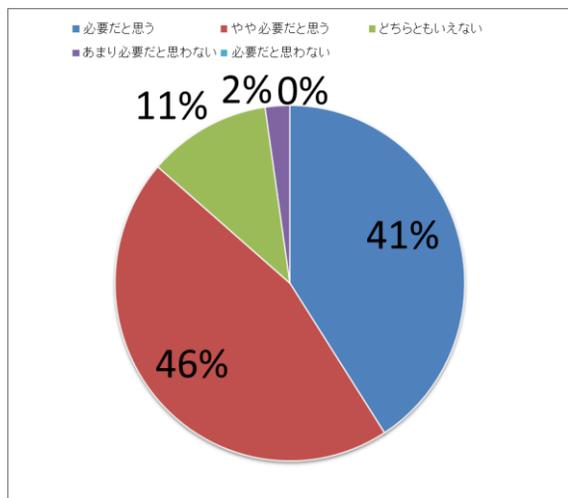


【問7】大学生による「地域活性化などのまちづくり」をより発展させるために必要なことは？

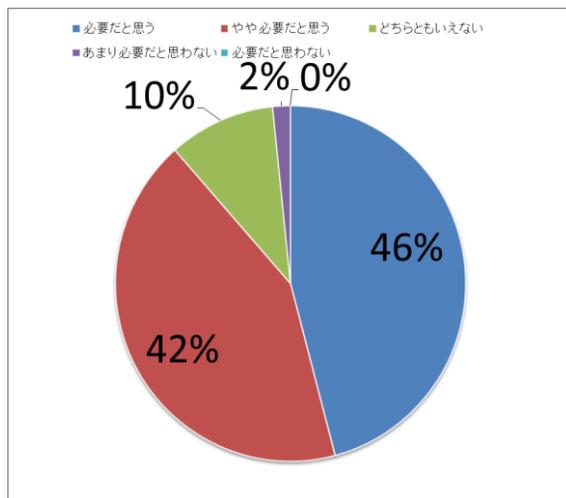
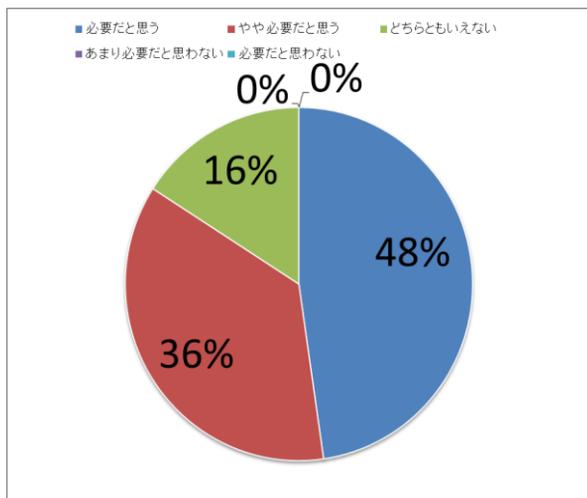
①複数年で継続して取り組むしくみ



②大学の枠を超えて大学生が集うプラットフォーム

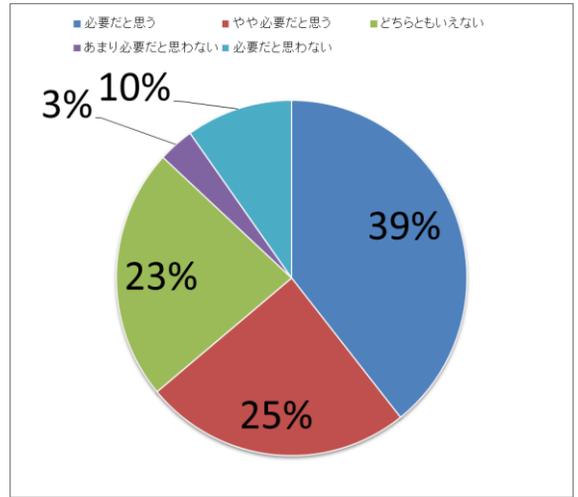
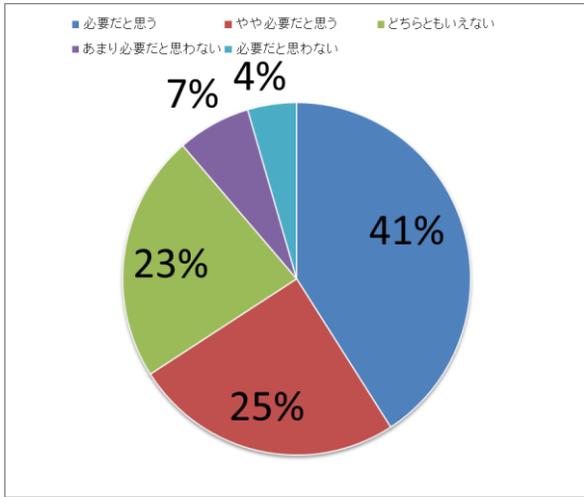


③大学生の交流を促進し、学生によるまちづくり活動を支援する拠点

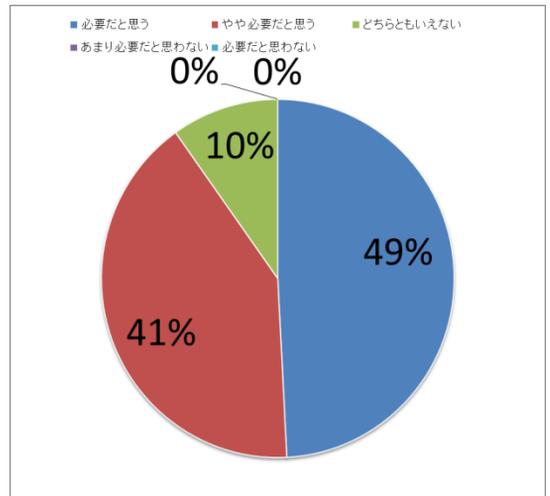
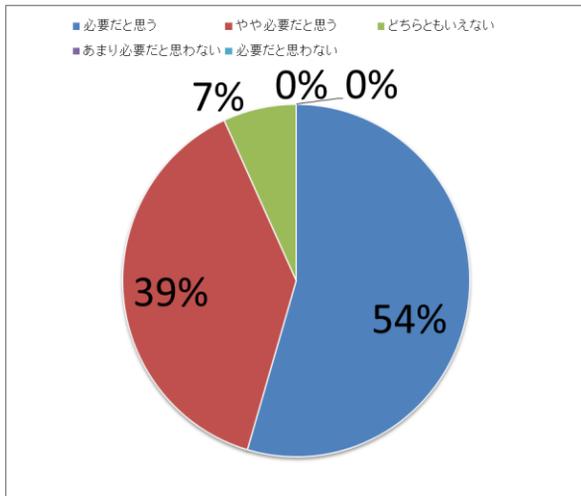




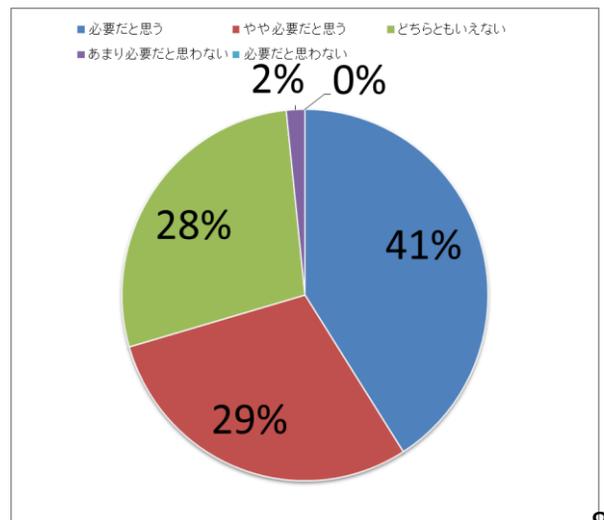
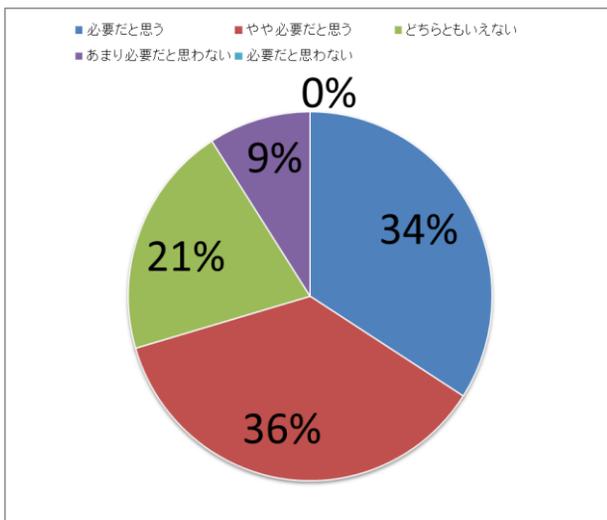
④まちづくり活動が大学の単位として認定されるしくみ



⑤大学生のまちづくりの活動を地域ぐるみで応援する枠組み



⑥起業・ビジネスを体験できるしくみ



⑦その他、必要だと思う、ものがあれば記入してください。

<中間報告会(11/3)>

- 大学関係なくプロジェクトを企画、するのも面白そう。(色々問題もあると思いますが・・・)
- 地域と学生をつなぐ窓口的な役割。
- もっと大きくこのような活動を宣伝してほしい。
- 留学生との交流。

<活動報告会(2/17)>

- 学生にとっても地域にとっても行政にとっても、とても意味のある取組だと思った。学生視点で言うと、なにかねらいを持って活動をして、それを成果として再度意義づけるといふ、この一連の流れの中で得られる学びは大きいと感じた。どの班も、中間発表からすごく良くなっていて、悔しながら圧倒されたなあと思った。
- もっと役所や企業、学校などももっともっと協力したい!!! そうすればもっと岡山が盛り上がると思う!!!
- 報告会の発表が短くてもっとそこで交流できたら大学生全体でもっと活性化できるのではないのかなと思いました。
- 海外との交流。
- 他大学との交流をできる場があればさらに良くなると思う。そして継続して行う活動こそ大切だと思う。

<t中間報告会(11/3)・・・アンケート裏面の自由記述欄の感想・コメント>

【岡山の学生】

- ・気軽に参加できる報告会でよかった。プロジェクトには所属しているものの、時間の都合であまり参加できていなかったのので、この点がよかったです。
- ・様々な団体のプレゼンテーションを聞き、自分たちでは思いつかなかった調査の仕方等がたくさんあり、とても勉強になりました。
- ・様々な大学で色々な取り組みが行われていて、私は私ができることで、精一杯取り組んでいきたいと思いました。大学ではそれぞれの学部で1つの分野を深く勉強するため、1人1人の意見がとても面白かったです。

【鳥取の学生】

- 岡山にこれだけの大学があることに驚きました。その中で、それぞれの大学の学生が各々の特徴を活かして活動を展開していて素晴らしいと思いました。岡山の学生が何を考えているのかを知ることができて良かったです。
- 鳥取の実情からすればかなりゆとりを持ってやられているのが少しうらやましいです。キャパオーバーにもならないし、専門性が高くなるので事業としての質も高くなると思います。できればこれくらいのプレッシャーで行えるような企画であってほしいです。大学生でもいくら時間があってもむずかしい所が多いので、いそがしくさせないでください。
- 今回大学生まちづくりチャレンジ事業の中間報告会に参加し、岡山でのまちづくりは他大学の多くの方、また、サポート企業が多様なことに驚いた。今回の中間報告会で発表されていた事業で、文化・交通・科学など、新たな切口を知ることができて有意義な時間だった。
- 今回の中間報告を通じて、分野のとても広い範囲でディスカッションするいい機会もいただいたと感じる。鳥取は大学も少ないが、学部も少ない。自分の公立鳥取環境大学は環境、経営と2つのみなので多種な学部でのディスカッションはとてもいい経験になった。
- ひと言に「まちづくり」といっても様々な取組をしていてすごく参考になりました。また、「やりたい」から活動内容を考えていること、得意を生かした活動がきわだっていてすごかったです。私も原点に帰って「やりたい」を見つけようと思いました。
- 各大学、非常にレベルが高い取り組みをされていてとても参考になりました。ありがとうございました。